

平成23年12月21日
大隅河川国道事務所

九州地方整備局を中心とした霧島山（新燃岳）の 再噴火を想定した初動訓練を実施します

霧島山（新燃岳）では、本年1月、昭和34年以来52年ぶりに爆発的噴火が発生しておりますが、9月初旬以降沈静化している状況にあります。しかし、国土地理院の調査では、霧島山山体の膨張が1月の噴火以来続いていることから、鹿児島地方気象台は再噴火に対する警戒を呼びかけています。

九州地方整備局では、今年1月の新燃岳噴火災害において、降灰対策や土石流対策など被害の拡大防止や被災自治体の復旧・復興に向けた迅速な支援等を実施してきたところです。

この度、先般霧島山の周辺市町と締結した「大規模災害時の応援に関する協定」及び先月開催の九州防災連絡会において確認された連携活動の円滑な実施に向けた訓練を含めて

1. 国土交通省専用回線を用いた関係行政機関及び自治体との防災情報のリアルタイム共有や職員の派遣
2. 新燃岳の再度の爆発的噴火後に必要となる幹線道路における降灰の迅速な処理、急溪流における土石流対策のための調査

などの実践的な初動訓練を自治体等と連携しつつ、12月26日に実施します。

当日は、地上カメラからの道路清掃状況などリアルタイム映像を共有した、被災自治体等との遠隔防災会議の様子をご覧ください。

1. 実施場所 大隅河川国道事務所（2F情報管理室）及び自治体（曾於市）
2. 取材いただける時間帯 12月26日 13時45分～14時15分

- ※ 取材を希望される方は、12月22日16時までに、下記問い合わせ先の調査第二課長高橋にその旨をお申し込みください。
- ※ 災害等の緊急事態等により、訓練が中止になる場合がありますので、予めその旨をお含み置きください。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長 榎田 範男（内線204）

調査第二課長 高橋 英一（内線361）

大隅河川国道事務所 代表 （0994）65-2541

霧島山（新燃岳）の再噴火を想定した初動訓練

- 実施予定日 平成23年12月26日（月） 10：00～15：00
- 対象災害 新燃岳噴火（中規模噴火）レベル4を想定
- 被災対象 宮崎・鹿児島県の道路、河川及び港湾・空港関係事務所管理施設等

〈今回の訓練のねらい〉

1. 霧島山周辺自治体と締結している「大規模災害時の応援に関する協定」の迅速・確実な対応の確認
2. 国土交通省専用回線を用いた関係行政機関及び自治体との防災情報のリアルタイム共有や職員派遣を円滑に実施すること
3. 新燃岳の再度の爆発的噴火後に必要となる降灰処理、急溪流における土石流対策のための降灰状況調査を迅速に実施すること

〈今回重点訓練内容〉

1. 噴火発生に備えたカメラ映像情報などの共有（災害情報の共有）
2. 被災自治体支援のための職員や災害対策用機械の派遣（事務所職員並びに防災機器の派遣）
3. 降灰による土石流の危険箇所を確認するための緊急調査に備えた事務所間職員派遣（危険箇所の迅速な処理）
4. 国土交通省専用回線を用いた自治体等との円滑な情報共有（関係機関との連携による大隅地域の防災力の向上）